

別紙・JKA補助事業 平成26年度 事前計画／自己評価書(3/5)

4. 補助事業の事前計画

補助事業

(1) 受益者 (ニーズ)		(受益者)要介護認定者及び要支援認定者(ニーズ)小田川荘デイサービスセンターでは、現在7台のリース車と日本財団から助成していただいた1台、合計8台で送迎等をしていきますが、うち福祉車両は2台しかありませんが、今後の高齢者人口の増加により、ますます利用者は増加するものと予測されます。一方で、施設の所在地が地方にあるため職員確保が難しくなっております。そこで、現在の職員で出来るだけ多くの方にデイサービスを利用していただくために、更に乗車定員の多い福祉車両を整備したと考えております。		
(2) 事業内容		<ul style="list-style-type: none"> ・移送車3「リフト付き」 ・メーカー名 トヨタ自動車 ・ハイエース ・排気量 2700CC ・用途 小田川荘デイサービスセンターの送迎 		
事業の新規性		<p>現在の職員で長時間のサービス提供を可能にするために乗車定員の多い福祉車両を整備し、ご利用者様の送迎時間を短縮することにより、ご利用者様のご家族様の強い利用要望にお応えし、出来るだけ多くの方に小田川荘デイサービスセンターを利用していただきたく考えております。予定通り、平成25年11月から、当センターの営業日を週5日制から6日制しましたので、送迎に活用ししたいと思います。</p>		
事業の発展性		<p>福祉車両の整備により、小田川荘デイサービスセンターの業務が活性化され、当センターの利用を希望されている方のご要望にお応えできるようになると考えており、更に将来予測される高齢化社会のニーズにも対応ししたいと思います。</p>		
実施計画	予算等	【事業の完了時期】 平成26年6月30日 【スケジュール】 別添1:補助事業の概要のとおり 【予算】 事業経費比較表のとおり		
	実施場所	岡山県井原市芳井町川相351番地		
実施体制		<p>・管理者 1名 ・生活相談員 2名(1名は介護職員と兼務) ・看護職員 2名(1名は介護職員と兼務) ・機能訓練指導員 1名 ・介護職員 9名(1名は生活相談員と兼務、1名は看護職員と兼務) ・送迎員 2名</p>		
(3) 達成目標	事業の実施結果	[指標] 導入年月日	[目標値] 平成26年6月	[具体的内容] 入札・契約・納品後の平成26年6月中に利用したい。
	事業の成果・波及	[指標] 1日平均利用者	[目標値] 8名	[具体的内容] 小田川荘デイサービスセンター通所予定者30名のうち、送迎を希望している8名が利用する。
	事業の結果	[指標] 1. 受益者・関係者への周知について:ポスター 2. 広く世間一般への周知について:HP掲載	[目標値] 1. 受益者・関係者への周知について:平成26年7月中 2. 広く世間一般への周知について:平成26年7月中	[具体的内容] 1. 受益者・関係者への周知について:福祉車両の納品・検収が終了次第、福祉車両の導入のポスターを平成26年7月中に作成し、小田川荘デイサービスセンター内に貼り出す。2. 広く世間一般への周知について:福祉車両の納品・検収が終了次第、福祉車両の導入のHPを平成26年7月中に作成し、小田川荘HPに掲載する。
(4) 情報発信	競輪・オートレース補助金による事業であること	[指標] 1. 受益者・関係者への周知について:ポスター 2. 広く世間一般への周知について:HP掲載	[目標値] 1. 受益者・関係者への周知について:平成26年7月中 2. 広く世間一般への周知について:平成26年7月中	[具体的内容] 1. 受益者・関係者への周知について:福祉車両の納品・検収が終了次第、競輪の補助金による事業であることのポスターを平成26年7月中に作成し、小田川荘デイサービスセンター内に貼り出す。2. 広く世間一般への周知について:福祉車両の納品・検収が終了次第、競輪の補助金による事業であることのHPを平成26年7月中に作成し、小田川荘HPに掲載する。
(5) 自己評価の体制		<p>(評価実施体制) 管理者 生活相談員1名 介護職員1名 評議員1名(評価方法) 事前計画／自己評価書による。(自己評価結果の公表方法) 小田川荘HP</p> <p>※研究補助の場合は、「成果の活用方法」を記入</p>		

補助事業の結果・成果により、補助事業の目的達成を図ります。

事業終了後に自己評価(4/5/5/5)を実施してください。

別紙・JKA補助事業 平成26年度 事前計画/自己評価書(4/5)

5. 補助事業の自己評価

(1) 総合評価

自己評価Ⅰ作成日	平成26年8月22日	作成者	佐藤 裕
自己評価Ⅱ作成日	平成 年 月 日	作成者	

① 自己評価Ⅰ [事業終了直後に、(2)個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。]	
事業全体についての意見・所感	車両の納車時期を当初平成26年6月を予定していましたが、福祉車両ということもあり、平成26年8月にずれ込み、全体の事業計画が2ヶ月遅れました。
優れている点・課題、改善すべき点	4社の指名入札により、当初の事業費総額4,006,870円を、3,885,164円に抑えることが出来ました。
その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	福祉車両を小田川荘デイサービスセンターの送迎に活用させていただき、ご利用者様の在宅生活の自立を支援し、自己実現及び自己統治に寄与するとともに、ご家族様の身体的・精神的負担をも軽減したい。
	採点 2
② 自己評価Ⅱ [平成28年2月末時点で、(2)個別評価項目「事業の成果・波及」の状況を確認し、補助事業が最終的に目指すこと(社会的課題の解決等)の達成状況及び、今後の展望をご記入ください。]	
補助事業が最終的に目指すこと(課題の解決等)の達成状況及び今後の展望	

(2) 個別項目評価 [実施状況等を振り返り、個別に評価してください。]

① 自己評価Ⅰ ② 自己評価Ⅱ [個別の評価項目について、事前計画の達成状況等を把握し、分析・評価してください。]										
① 自己評価Ⅰ	採点									
受益者(ニーズ)	平成25年9月から小田川荘デイサービスセンターの延べ利用者数は若干の増加傾向にあったが、平成25年11月からは、営業日変更に伴う不慣れのため、減少傾向となりましたが、平成26年2月からは増加に転じ増加傾向にあります。	3								
① 自己評価Ⅰ	事業内容									
	<ul style="list-style-type: none"> ・移送車3「リフト式」 ・メーカー名 トヨタ自動車 ・ハイエース ・排気量 2700cc ・用途 小田川荘デイサービスセンターの送迎 									
	事業の新規性または継続の必要性	平成25年11月から、小田川荘デイサービスセンターの営業日を週5日制から6日制にしたことにより、変更に伴う不慣れのため、延べ利用者数は減少傾向ありましたが、平成26年2月からは増加に転じ増加傾向にあります。	採点 3							
	事業の発展性	平成26年2月からは延べ利用者数は増加傾向にあります。	採点 3							
	実施計画・体制	事業の完了時期は平成26年6月30日を予定していましたが、納車時期の遅れにより、平成26年8月5日となりました。補助対象経費総額は3,000,000円となり、補助金は2,250,000円、自己負担金750,000円となり、入札の結果、事業費総額は3,885,164円となりました。管理者の変更、職員の入退社がありました。実施体制の職種及び人数については変わっておりません。	採点 2							
達成目標	① 自己評価Ⅰ	事業の実施結果	<table border="1"> <tr> <th>[達成値]</th> <th>[達成状況]</th> <th>[具体的内容]</th> </tr> <tr> <td>平成26年8月5日</td> <td>80%</td> <td>平成26年6月30日を予定していましたが、納車時期の遅れにより、平成26年8月5日となりました。</td> </tr> </table>	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	平成26年8月5日	80%	平成26年6月30日を予定していましたが、納車時期の遅れにより、平成26年8月5日となりました。	採点 3
	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]							
平成26年8月5日	80%	平成26年6月30日を予定していましたが、納車時期の遅れにより、平成26年8月5日となりました。								
② 自己評価Ⅱ	事業の成果・波及	<table border="1"> <tr> <th>[達成値]</th> <th>[達成状況]</th> <th>[具体的内容]</th> </tr> <tr> <td>5名</td> <td>60%</td> <td>平成26年2月からは小田川荘デイサービスセンター延べ利用者数は増加傾向にありますが、定員までにはまだ余裕がある状況のため、当初8名を予定していましたが、5名となりました。</td> </tr> </table>	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	5名	60%	平成26年2月からは小田川荘デイサービスセンター延べ利用者数は増加傾向にありますが、定員までにはまだ余裕がある状況のため、当初8名を予定していましたが、5名となりました。	採点 2	
[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]								
5名	60%	平成26年2月からは小田川荘デイサービスセンター延べ利用者数は増加傾向にありますが、定員までにはまだ余裕がある状況のため、当初8名を予定していましたが、5名となりました。								
情報発信	① 自己評価Ⅰ	事業の結果	<table border="1"> <tr> <th>[達成値]</th> <th>[達成状況]</th> <th>[具体的内容]</th> </tr> <tr> <td>1.受益者・関係者への周知について 平成26年8月 2.広く世間一般への周知について 平成26年8月ホームページに掲載</td> <td>1.90% 2.80%</td> <td>1.平成26年8月、「JKA競輪補助事業完了のお知らせ」ポスターを小田川荘デイサービスセンター内に掲示するとともに、小田川荘デイサービスセンターの機関誌「小田川荘通所通信」(8月号vol.004)にも掲載する。 2.平成26年9月、小田川荘ホームページに「競輪補助事業完了のお知らせ」を掲載する。</td> </tr> </table>	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	1.受益者・関係者への周知について 平成26年8月 2.広く世間一般への周知について 平成26年8月ホームページに掲載	1.90% 2.80%	1.平成26年8月、「JKA競輪補助事業完了のお知らせ」ポスターを小田川荘デイサービスセンター内に掲示するとともに、小田川荘デイサービスセンターの機関誌「小田川荘通所通信」(8月号vol.004)にも掲載する。 2.平成26年9月、小田川荘ホームページに「競輪補助事業完了のお知らせ」を掲載する。	採点 3
	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]							
1.受益者・関係者への周知について 平成26年8月 2.広く世間一般への周知について 平成26年8月ホームページに掲載	1.90% 2.80%	1.平成26年8月、「JKA競輪補助事業完了のお知らせ」ポスターを小田川荘デイサービスセンター内に掲示するとともに、小田川荘デイサービスセンターの機関誌「小田川荘通所通信」(8月号vol.004)にも掲載する。 2.平成26年9月、小田川荘ホームページに「競輪補助事業完了のお知らせ」を掲載する。								
競輪・オートレース補助金による事業であること	<table border="1"> <tr> <th>[達成値]</th> <th>[達成状況]</th> <th>[具体的内容]</th> </tr> <tr> <td>1.受益者・関係者への周知について 平成26年8月 2.広く世間一般への周知について 平成26年8月ホームページに掲載</td> <td>1.90% 2.80%</td> <td>1.平成26年8月、「JKA競輪補助事業完了のお知らせ」ポスターを小田川荘デイサービスセンター内に掲示するとともに、小田川荘デイサービスセンターの機関誌「小田川荘通所通信」(8月号vol.004)にも掲載する。 2.平成26年9月、小田川荘ホームページに「競輪補助事業完了のお知らせ」を掲載する。</td> </tr> </table>	[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]	1.受益者・関係者への周知について 平成26年8月 2.広く世間一般への周知について 平成26年8月ホームページに掲載	1.90% 2.80%	1.平成26年8月、「JKA競輪補助事業完了のお知らせ」ポスターを小田川荘デイサービスセンター内に掲示するとともに、小田川荘デイサービスセンターの機関誌「小田川荘通所通信」(8月号vol.004)にも掲載する。 2.平成26年9月、小田川荘ホームページに「競輪補助事業完了のお知らせ」を掲載する。	採点 3		
[達成値]	[達成状況]	[具体的内容]								
1.受益者・関係者への周知について 平成26年8月 2.広く世間一般への周知について 平成26年8月ホームページに掲載	1.90% 2.80%	1.平成26年8月、「JKA競輪補助事業完了のお知らせ」ポスターを小田川荘デイサービスセンター内に掲示するとともに、小田川荘デイサービスセンターの機関誌「小田川荘通所通信」(8月号vol.004)にも掲載する。 2.平成26年9月、小田川荘ホームページに「競輪補助事業完了のお知らせ」を掲載する。								
① 自己評価Ⅰ	自己評価の体制※研究補助の場合は、「成果の利活用方法」を記入	平成26年8月6日、管理者 生活相談員1名 介護職員2名 評議員1名により、事前計画/自己評価書により、自己評価を行い、評価結果を小田川荘ホームページに掲載する。	採点 3							

事業終了後に自己評価を実施していただくこと

事業終了後に自己評価を実施していただくこと

別紙・JKA補助事業 平成26年度 事前計画／自己評価書(5/5)

(3) 事業の促進・阻害要因の自己分析 (① 自己評価 I に併せて実施してください。)

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)～(15)の「促進」または「阻害」欄に「*」を記し、要因の内容を(a)欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを(b)欄に、それぞれの要因分類の番号(1)～(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16)の欄に「*」を記し、その理由をご記入ください。

事業の促進・阻害要因の自己分析

	促進	阻害	要因分類	(a) 促進または阻害要因の具体的な内容	(b) 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部要因	*		(1) 経費	(1)事業費総額を、入札により、4,006,870円から3,885,164円に減額できた。 (4)福祉車両の納車の遅れたため、事業完了が約2ヶ月遅くなった。 (7)1日の利用者を8名予定していたが、5名前後となった。 車両のボディサイズが大きく、女性の介護職員には運転しづらい。	(1)事業費に関しては、入札を実施したい。 (4)購入業者に事前に納車時期を確認することにする。 (7)平成26年2月からは小田川荘デイサービスセンター延べ利用者数は増加傾向にあるが、定員まではまだ余裕があるので、更に利用者数の増加に努める。 とにかく時間をかけて慣れてもらうように努めよう。
			(2) 実施体制 (人員、関係機関の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要な物資等の確保)		
		*	(4) 実施期間 (事業終了までに要する期間)		
			(5) 事業運営のノウハウ(進捗管理、資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変更(主に建築)		
		*	(7) その他		
外部要因			(8) 受益者の規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外の団体等の協力・支援		
			(10) 関連法制度の変更		
			(11) 利害関係者(受益者以外)の要望への対応		
			(12) 災害の発生(地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術開発		
			(14) 競合するサービス・事業の出現		
			(15) その他		
		(16)			

事業の促進・阻害要因の自己分析